

理事長 殿

2022年度 特定課題研究費研究報告書

研究代表者	所属	一般科	職	助教	氏名	河野光将
研究分担者	所属		職		氏名	
	所属		職		氏名	
	所属		職		氏名	
研究課題名	(和文) 近世・明治における古典研究の歴史					
	(英文) The history of Japanese classical study in Edo, Meiji periods					
研究種目	スタートアップ研究					
研究実績の概要						
<p>近世から明治にかけての古典研究の歴史の中で、今年度は特に近世期における日本語研究史について調査、検討を行った。従来、日本語研究史における歌学書については、『姉小路式』や『歌道秘蔵録』などといった中世歌学書が取り上げられるのみであり、近世歌学に対しては極めて冷淡な扱われ方がなされてきた。その中でも近世期前期歌学における言語学的言説についてはこれまで、資料的制約から日本語研究史上では等閑視されてきたの。しかし、近年、『近世歌学集成』『歌論歌学集成』などの刊行により、資料へのアクセス性が大幅に向上している。そうした資料を活用しながら、近世前期歌学について子細に検討すると、係助詞「や」「か」のフォーカスの違いについての素朴な認識が見えるなど、日本語研究史上、重要な指摘が行われていることが判明した。</p> <p>今年度は特に、近世和歌が志向したものについて考察をおこなった。詠歌の担い手が爆発的に増加する近世においては、新規性をどう和歌に詠みこむのかという点が課題であり、近世の歌学書では安易な方法で新規性を盛り込むことを制するものが多かった。これは、和歌だけにとどまらず、新規性と伝統との対立は俳諧などでも同様の状況であったことを明らかにした。</p>						
研究発表（論文、著書、講演等）						
河野光将（2023）「石門心学と道歌の展開」『東京都立産業技術高等専門学校研究紀要』17						
その他（教育活動・OPCへの貢献、特許等）						
令和4年度青森県手話通訳士養成研修講師 令和4年度社会福祉法人全国手話研究センター手話通訳士試験研修講師 令和4年度京都府要約筆記者認定試験問題作成委員						